

第5回信州アディクションセミナー報告書

2015年3月15日

信州アディクションセミナー実行委員会 事務局

下記のように第5回信州アディクションセミナーを開催しましたので、報告します。

1. 日時、場所

2014年9月14日（日） 10:00～16:00

松本市Mウィング（中央公民館）（長野県松本市中央 1-18-1）

2. 参加人数

参加人数 180人 アンケート回収数 48

3. 参加者のプロフィール（アンケートより）

男女比

男性 36%、女性 64%。

年代

30代・40代・60代を中心に、20代～70代まで幅広く。

居所

開催地のある中信地方（長野県中央部）が19%。その他長野県内全域から33%。49%は県外から参加。

立場（複数回答）

アディクション本人が55%。家族が28%。専門家・援助職が9%。その他一般が11%。

4. 効果

アディクションからの回復に果たす12ステップの役割について、伊波真理雄先生から基調講演をしていただきました。アンケートの感想からは先生の話がわかりやすいと好評だったことがうかがえます。アンケート集計をご覧ください。

午後の各団体の体験発表、分科会にも多数の参加者がありました。

5. 反省点

実行委員の都合により今回の第5回で活動を休止することになりました。幸いなことに長野市のメンバーを中心に新しい実行委員会が始まり、第6回以降は長野市で継続することになりました。

6. 当日実施内容

基調講演（90分）

『12ステップを支えるクリニックのチャレンジ』

雷門メンタルクリニック院長 伊波真理雄医師

質疑応答（20分）

午後のプログラム

体験発表実施団体（15分×11団体）

ナラノン、AA、ギャマノン、pirka、リカバリー・パレード、HA、DA、S.L.A.A.、OA、NA、GA

分科会実施団体（90分、9団体）

GA、DA、ゲシュタルトファシリテーターによる気づきの分かち合い、S.L.A.A.、NA、ギャマノン、HA、ナラノン、SCA

アピールタイム参加団体

リカバリー・パレード他

配布資料集

各団体チラシなど

7. 共催・協賛・後援

主催：信州アディクションセミナー実行委員会

共催：松本市

10. 謝辞

当日会場まで足を運んでくださった多くの皆様に感謝申し上げます。参加いただいた団体の皆さん、資料提供をいただいた団体の皆様に感謝いたします。様々な医療機関、相談機関、行政機関、相互援助（自助）グループの方々、また信州アディクションセミナーを応援して下さる方が、広報に協力していただきました。またマスメディアの方々にもご協力をいただきました。それぞれに感謝申し上げます。

共催の松本市からは会場を提供していただきました。感謝申し上げます。

会場にて募金をくださった皆様、また実行委員会に寄付をいただいた皆様に、感謝申し上げます。

2010年に実行委員会を立ち上げて以来、皆様に様々な応援・ご協力をいただきましてありがとうございました。私たちはこれにていったん活動を終えますが、新しい実行委委員会が信州アディクションセミナーの開催を続けることになりました。引き続き、ご支援をお願いします。

実行委員会一同